

僕らは今のなかで

公立高校の第2志望について

今号では、公立高校の第2志望について記します。なお、来春の公立高校の入学者選抜の方法等につきましては、秋に「道立高等学校入学者選抜の手引（北海道教育委員会）」により明示されます。そこで、下記に記したことは、今春（昨年度の卒業生）の入試についてのものです。変更されることもあり得ることをご理解ください。

【第2志望】

- ① 農業に関する学科、工業に関する学科、商業に関する学科又は水産に関する学科への出願において、出願しようとする高等学校に置かれている同一課程の同一大学科内の他の学科を第2志望とする場合に認められます。

（認められる例）

第1志望：札幌工業高校全日制機械科 第2志望：札幌工業高校全日制土木科

第1志望：札幌東商業高校全日制情報処理科 第2志望：札幌東商業高校全日制国際経済科

第1志望：札幌工業高校定時制機械科 第2志望：札幌工業高校定時制電気科

（認められない例）

第1志望：札幌工業高校全日制機械科 第2志望：札幌工業高校定時制電気科

- ② 全日制の課程の普通科のほかに、理科・数学に関する学科、体育に関する学科又は外国語に関する学科を併置している高等学校において、そのいずれかを第2志望とする場合に認められます。

（認められる例）

第1志望：札幌国際情報高校全日制普通科 第2志望：札幌国際情報高校全日制国際文化科

第1志望：札幌国際情報高校全日制国際文化科 第2志望：札幌国際情報高校全日制普通科

第1志望：札幌啓成高校全日制普通科 第2志望：札幌啓成高校全日制理数科

（認められない例）

第1志望：札幌国際情報高校全日制普通科 第2志望：札幌国際情報高校全日制理数工学科

※ 理数工学科は理科・数学に関する学科ではありません。（工業に関する学科です。）

こうした第2志望の他に「第1志望及び第2志望の学科以外の学科への入学の希望」というものがあります。（以下「1・2外希望」と記します。）これは、第3志望とは少し意味合いが異なります。1・2外希望に記した学科に欠員（定員割れ）が起きた時に合格できる制度です。

【1・2外希望】

- ① 2以上の大学科を併置している高等学校への出願において、第1志望及び第2志望の学科以外に、他の大学科の学科への入学を併せて希望する場合に認められます。
- ② 同一大学科内において、第1志望及び第2志望の学科以外に、他の大学科の学科への入学を併せて希望する場合に認められます。

(第2志望とあわせた例)

札幌工業高校全日制、札幌琴似工業高校全日制、札幌東商業高校全日制

第1志望	第2志望	1・2外希望
4学科から1つ	残り3学科から1つ	残り2学科から1つ

札幌国際情報高校

第1志望	第2志望	1・2外希望
普通	国際文化	理数工学、グローバルビジネスから1つ
国際文化	普通	理数工学、グローバルビジネスから1つ
理数工学	×	普通、国際文化、グローバルビジネスから1つ
グローバルビジネス	×	普通、国際文化、理数工学から1つ

- 第2志望、1・2外希望は志望（希望）しないこともできます。

【札幌自由が丘学園三和高等学校札幌学習センター】＝個別相談（対象＝中学生・保護者）

札幌自由が丘学園三和高校札幌学習センターの個別相談が下記の通り行なわれます。

- ①日時 令和 2年 6月27日（土）1回目 10：00～、2回目 11：30～
7月18日（土）1回目 10：00～、2回目 11：30～
- ②会場 札幌自由が丘学園三和高校札幌学習センター
- ③電話 011-743-1267

個別相談の参加希望者は、電話にて各自で申し込みください。（中学校への連絡は不要です。）

@coffee break 2020年（照明）問題

『2020年（照明）問題』をご存じですか。

通称「水俣条約」という国際条約によって今年（2020年）の12月31日以降は水銀ランプの製造・輸出入が禁止されます。この条約を考慮して、2018年10月にパナソニック株式会社（水銀ランプ市場の3割強を出荷）は「2020年6月末で蛍光灯（水銀ランプ）の生産を終了する。」と発表しました。この蛍光灯の生産中止は、今後、各メーカーでも行うことが予想されます。

また、蛍光灯器具に関しても、多くのメーカーが、生産終了を発表しています。これにより蛍光灯器具が壊れた際、代替品が手に入らない可能性がでてきます。こうした問題を『2020年（照明）問題』といいます。

古くは『ろうそく』、『灯明（とうみょう）』→『白熱電球』→『蛍光灯』と進歩してきた照明ですが、今後は『LED』、さらには新しい技術である*『有機EL』へと移り変わっていくのですね。

*有機EL… 正しくは、「有機エレクトロルミネッセンス」といい、次世代ディスプレイの他、LED照明と同様に次世代照明として期待されている。「薄くて軽い」、「消費電力が少ない」、「視野角が広い」といった特徴（長所）がある。